



マレリ環境・安全衛生（EHS）方針

ビジョン

マレリは、その企業活動、製品、サービスを通し、環境・安全衛生（EHS）に対するリスクを排除、最小化し、持続可能な社会・経済・環境の実現に貢献します。同時に、環境・安全衛生の領域において、予防文化の醸成と戦略的な取り組みを進め、パフォーマンスを継続的に向上させることにより、持続可能な企業の成長を目指します。

コミットメント

すべての従業員は、環境・安全衛生を守ることが義務であるとの認識を持ち、その役割を果たします。具体的には、環境・安全衛生に関する、以下の取り組みを行います。

- 関連法規、社会への約束、ステークホルダーからの要請、および、最も厳しい国際基準を順守し、企業活動を進めます。
- 本方針の下、法規制、社会的要請、および、長期ビジョンに基づいて年間計画を立て、継続的なパフォーマンスの向上をすべてのステークホルダーに対して公表し、約束します。
- パフォーマンスの継続的向上に必要なリソースを確保します。
- 教育訓練、情報提供、認知向上の取り組みを進めます。
- 各拠点においては、その地域の状況や、社内外のステークホルダーからの要請に応じ、緊急事態を想定し、その対応計画を立てることで、人と環境への悪影響を軽減します。
- 職場環境の危険を迅速に特定し、健康や安全に対するリスクを評価し、適切な予防措置を施すことにより、危険を排除、安全衛生上のリスクを軽減し（ヒエラルキーコントロールの考え方に基づいて）、その継続的改善に努め、マレリ従業員、マレリと共に働く人々に、安全な職場環境を提供します。
- 災害の調査を行い、原因を特定すると共に、類似災害の有無確認と、潜在的な再発可能性検証を行います。
- マレリに従事するすべての労働者、および、その代表者の意見を取り入れ、活動への参画を促進します。
- 製品の設計、製造、および、流通段階におけるすべての重要な意思決定において、ライフサイクルの観点から環境・安全衛生への影響を考慮に入れ、環境配慮型製品の開発を進めます。
- 人や環境に悪影響を及ぼす可能性のある物質の使用を中止または、削減し、適切な代替品への切り替えを進めます。
- 企業活動、製品、および、サービスが環境へ与えるインパクトを最小限に抑えるため、以下に取り組みます。
 - 天然資源（水など）、および、原材料の有効活用
 - 材料の再利用やリサイクルの促進による廃棄物の削減
 - あらゆる汚染物質と温室効果ガスの排出削減
 - CO2（二酸化炭素）および、その他の温室効果ガス排出の削減による気候変動の影響緩和（エネルギー効率改善推進及び、持続可能な状況での再生可能エネルギーの使用拡大）
- 特に当社が事業活動をすすめる地域において、生物多様性と生態系を保護します。
- サプライチェーン全体で、サプライヤーに対し、関連するすべての法律や規制を遵守し、本方針の下、必要な基準を設定し必要な措置をとることで、有効な環境・安全衛生マネジメントシステムを構築し、維持していくことを要請します。

*「実質支配権」とは、直接・間接を問わず、法人の50%以上の議決権、法人の取締役の過半数を任命または選任する権限、または法人の経営を直接管理する権限を指します。



マレリ・グループが実質支配権*をもつ法人に属するすべての拠点は、国際標準 ISO 14001、ISO 45001、および、マレリ・グループの定める内部基準（および、ガイドライン）に従い、環境・安全衛生マネジメントシステムを確立し、実施し、維持し、継続的に改善しなければなりません。

マレリ経営陣は、本方針とここに示された価値基準に従い、活動が実施されることを保証するため、戦略的役割を果たします。

第一版：2020 年 2 月 26 日

最終改正日：2021 年 12 月 15 日

GEC

マレリ・グループ